

# トラマール: 鎮痛剤

商品名	トラマール注100 100mg/2mL/A
一般名	トラマドール塩酸塩
添付文書	1回100～150mg 筋注 必要に応じ4～5hr毎に反復投与 (最大投与量記載なし)
添付文書内参考資料 (イギリス)	50又は100mgを4～6hr毎に投与。400mg/dayまで。 徐々に静注(2～3min)又は輸液に希釈し注入

- \* 日本の添付文書では投与方法は筋肉内注射のみが適応である。患者負担軽減の観点から、「**間欠的静注**」と「**持続静注・持続皮下注**」の希釈・投与方法例を以下に示す。
- \* 皮下投与の場合、一般的に1mL/hr以下で投与する。

補足)トラマール錠: 経口モルヒネ=300mg: 60mg(～30mg)  
 補足)トラマール錠: トラマール注(静注/皮下)=100mg: 75～100mg  
 補足)トラマール錠の最大量: 400mg/day、BA: 約75%、半減期: 約6hr  
 注意)ワルファリンとの併用は推奨しない

## ● 間欠的静注の希釈・投与方法例

標準投与量 【間欠的静注】	1/2A(50mg)又は1A(100mg) + 生食50mL 15～30minかけて 1日数回(1～4hr以上空けて反復投与可) 疼痛時 <sup>※1</sup> 1回分、最大300mg/day <sup>※2</sup>
------------------	--

## ● 持続静注・皮下注する場合の希釈・投与方法 (例: 5倍希釈)

標準開始量 【持続投与】 (日本麻酔科学会医薬品 ガイドライン第3版参考)	70～100mg/day 持続皮下注(持続静注可) 疼痛時 <sup>※1</sup> 1～2hr分早送り(1hr以上空けて反復投与可) 6～8hr毎に増量可、最大300mg/day <sup>※2</sup>
《10mg/mL》 【5倍希釈】	1A + 生食8mL ⇒ 10mL 3A + 生食24mL ⇒ 30mL
投与速度 [mL/hr]	0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1 1.2 1.3
1日投与量 [mg/day]	24 48 72 96 120 144 168 192 216 240 288 312

※1: 疼痛時の目安・・・NRS ≥ 4～5/10 (線維筋痛症患者に対するNRS評価には注意が必要)  
 ※2: てんかんやけいれん等のリスクが高い場合には最大200mg/day